

令和3年度 第2回 日本酒蔵ツーリズム推進協議会 運営委員会 開催レポート

公益社団法人日本観光振興協会が事務局をつとめる「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」は、令和4年2月24日（木）に「令和3年度 第2回 日本酒蔵ツーリズム推進協議会 運営委員会」を開催いたしました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止と参加者の安全確保の観点から、オンラインでの実施となりました。

運営委員会では、令和3年度事業報告・収支決算、令和4年度事業計画・収支予算、規約改定（案）の承認を頂きました。

【関係資料】

- ・ 第1号議案 令和3年度事業概要報告・収支決算
- ・ 資料1-1 「海外市場開拓に向けた調査事業」報告
- ・ 資料1-2 「ロンリープラネット事業」報告
- ・ 第2号議案 令和4年度事業計画・収支予算
- ・ 第3号議案 その他議案

【第1号議案】令和3年度事業報告・収支決算

(1) 研修事業、(2) 調査事業、(3) プロモーション事業、(4) 協議会自主事業を実施しました。

なお令和3年度事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により「プロモーション事業」の一部が変更となりました。

(1) 研修事業

「『酒蔵ツーリズム』を通じて消費拡大、地域周遊・滞在を促す」をテーマに、取り組み事例を紹介しました。(令和4年2月24日開催)

(2) 調査事業

国内を対象とした「酒蔵ツーリズム調査」は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い調査を見送りました。

海外を対象とした「日本産酒類ドイツ市場調査」では、現地在住のコーディネーター協力のもと、日本酒インポーター、日本酒レストラン・酒場、ドイツの旅行会社を対象とした調査を実施しました。日本産酒類の認知度、日本を訪問した際に日本酒体験が好まれるか等を明らかにし、今後の協議会の活動方針の参考としました。調査結果は令和4年4月以降にご案内予定。(詳細：参考資料1-1)

(3) プロモーション事業

オフィシャルサイト及び Facebook・Twitter で酒蔵関連の情報発信を行いました。

日本観光振興協会が発行している季刊誌「観光とまちづくり」では、「酒蔵ツーリズム」の取り組み事例を紹介する「体験！日本酒蔵ツーリズム」を連載し、計4回発行しました。

「ツーリズム EXPO ジャパン 2020in 大阪・関西」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、開催延期となりました。海外の催事では「Bar convent Berlin」に出展し、「酒蔵ツーリズム」について発信、パンフレット等を配布しました。

また、世界最大のガイドブック「ロンリープラネット」と連携し、ネット記事と映像を掲出しドイツをはじめとする世界各国への情報発信を図りました。（詳細：参考資料1-2）

(4) 協議会自主事業

会員相互交流、情報交流機会の提供など、酒蔵と各事業者との協力関係の促進を行いました。各省庁への協力も実施しました。

【第2号議案】令和4年度事業計画・収支予算

令和4年度事業は、以下のとおり事業を展開する予定です（新型コロナウイルス感染状況により、内容が変更する可能性があります）。

(1) 研修事業

観光関係者・協議会会員向けに、年2回程度の開催を予定しています。

(2) プロモーション事業

オフィシャルサイト及び Facebook・Twitter で酒蔵関連の情報発信を行う予定です。また新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、各旅行博への参加も予定しています。日本観光振興協会が年4回発行している季刊誌「観光とまちづくり」にて連載している「体験！日本酒蔵ツーリズム」においても、引き続き掲載いたします。

(3) 協議会自主事業

会員相互交流、情報交流の機会の提供等、酒蔵と各事業者との協力関係の促進を行い、各省庁への協力も予定しています。

また、酒蔵ツーリズムの普及・促進に向けた調査を実施する予定です。

【第3号議案】その他議案

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、令和4年度は令和3年度と同様に会費3万円から1万5千円といたします。

また宮坂不二生副会長(前東北・夢の桜街道推進協議会 事務局長)の退任に伴い、後任を検討・調整しています。

その他

日本酒蔵ツーリズム推進協議会の運営に関するご意見・ご要望等を頂戴いたしました。その一部を共有させていただきます。

- 「酒蔵ツーリズム」の認識を再度すり合わせ、一体化を図る取り組みを行ってほしい。(民間企業)
- 各酒蔵の商品・パッケージ等を取りまとめ、情報発信することに限界がある。どのように情報を発信するか検討するべきである。(関係団体)
- コロナ禍でできることを行いたい。(酒蔵・行政)

令和4年6月頃に「令和4年度 第1回 日本酒蔵ツーリズム推進協議会運営委員会」を、令和4年7月上旬頃に「令和4年度 日本酒蔵ツーリズム推進協議会 総会」の開催を予定しています。こちらの回答もよろしくお願い申し上げます。

日本酒蔵ツーリズム推進協議会は、各都道府県等の地方自治体、観光協会、DMO、観光関連団体・企業等と酒蔵が一層連携することで、酒蔵ツーリズム事業の継続・発展を目指してまいります。引き続きのご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上